

サンビットPBT・ABT の NaCl に対する防錆効果

1. 試験条件

試験時間	24 時間	
試験温度	50±2℃	
液量	1000mL	
試験片	鋳鉄 (FC-20)	50×25×3.0mm
	鋼 (SPCC-B)	50×25×1.6mm
	銅 (C1100P)	50×25×1.6mm
	黄銅 (C2608P)	50×25×1.6mm
	アルミニウム鋳物 (AC2A)	50×25×3.0mm

注) 1)各試験片は#320 番研磨紙で乾式研磨し、アセトン、メタノール洗浄後、デシケータ中で放置、0.1mg まで秤量した。

2)試験片の後処理は JIS 法に準じて処理した。

2. 試験条件

2-1. 供試防錆剤

①サンビットPBTのナトリウム塩 ②サンビット ABT のナトリウム塩

2-2. 防錆剤の添加量 1000ppm

2-3. 試験液中のNaClの濃度 ①1g/L ②5g/L

2-4. 希釈水 純水

3. 試験結果

3-1. PBTのナトリウム塩

項目		NaCl濃度 (wt/v%)	ブランク			0.1			0.5		
			減量 (mg)	腐食量 (mdd)	表面 状態 (目視)	減量 (mg)	腐食量 (mdd)	表面 状態 (目視)	減量 (mg)	腐食量 (mdd)	表面 状態 (目視)
試験 片	鋳鉄		0.3	1.0	○	1.0	3.2	△~○	1.2	3.9	△
	鋼		0.0	0.0	◎	0.1	0.4	◎	0.0	0.0	○
	黄銅		0.2	0.7	◎	0.2	0.7	◎	0.3	1.1	○
	銅		0.0	0.0	◎	0.2	0.7	○	0.2	0.7	○
	アルミニウム鋳物		3.7	8.3	○	18.2	58.7	△~○	18.4	59.3	×
試験 液	色 相	前	淡黄色			微白色			白濁		
		後	黄褐色			淡黄色白濁			黄色白濁		
	pH	前	9.0			9.2			9.1		
		後	8.2			7.8			7.9		

3-2. ABTのナトリウム塩

NaCl濃度 (wt/v%)		ブランク			0.1			0.5			
		減量 (mg)	腐食 量 (mdd)	表面 状態 (目視)	減量 (mg)	腐食 量 (mdd)	表面 状態 (目視)	減量 (mg)	腐食 量 (mdd)	表面 状態 (目視)	
試験 片	鑄鉄	19.2	61.9	○	16.8	54.2	△~○	10.0	32.7	△	
	鋼	2.2	8.1	◎	0.1	0.4	◎	0.1	0.4	○	
	黄銅	0.8	3.0	◎	0.5	1.8	◎	0.3	1.1	○	
	銅	1.2	4.4	◎	1.7	6.3	○	1.1	4.1	○	
	アルミニウム鑄物	1.6	5.2	○	9.1	29.3	△~○	13.4	43.2	×	
試験 液	色 相	前	淡黄色			美白色			白濁		
		後	赤褐色			赤褐色			赤褐色		
	pH	前	9.0			9.1			9.0		
		後	7.7			7.5			7.5		

※本資料の記載のデータおよび事項は細心の注意を払って行った試験に基づくものですが、
実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

 **三新化学工業株式会社** <https://www.sanshin-ci.co.jp/>

本社: 〒742-8576 山口県柳井市南町 4-1-41

TEL(0820)23-7111 / FAX(0820)23-7117

東京営業所: 〒101-00 東京都千代田区岩本町一丁目8番1号テラサキ第5ビル9F

TEL(03)5823-5501 FAX(03)5823-5504

大阪営業所: 〒541-004 大阪府中央区高麗橋四丁目5番2号高麗橋ウエストビル5F

TEL(06)6223-1911 FAX(06)6223-1915